



2019年7月24日
商工中金

**「半田市バイオマス産業都市構想」の事業者である
株式会社ビオクラシックス半田様が循環型社会の実現に向けて
バイオガス発電プロジェクトを計画。碧海信用金庫、知多信用金庫、
西尾信用金庫、半田信用金庫と商工中金がシンジケートローンを組成！**

株式会社ビオクラシックス半田様（本社：愛知県半田市、代表者：水野貴之氏）は、半田市が掲げる「半田市バイオマス産業都市構想」の事業者として、現在、同市が抱える畜産臭気低減、ごみ減量化、農業振興や担い手確保など、様々な行政課題の解決と地域循環型の次世代につながる街づくりを目指し、バイオマス資源を有効活用する事業化プロジェクトを策定しました。

このプロジェクトは地域の将来に関わる重要なプロジェクトであり、その趣旨に賛同した地域金融機関である碧海信用金庫、知多信用金庫、西尾信用金庫、半田信用金庫の4行がスクラムを組み、アレンジャーとして商工中金が参加したシンジケートローンが組成され、金融団が一致協力し支援を行うこととなりました。

本プロジェクトが実現すれば、電力会社向けの固定買取制度を利用して一日あたり17,340KWhの発電が見込まれており、これらは約1,500世帯の一日あたりの使用量に相当する発電が可能となります。バイオガス発電施設でつくられたクリーンエネルギーや肥料が再利用できることに加え、燃料等の工業製品原料や健康食品、家畜飼料などへの応用も可能となります。また、新たな産業創出や、行政課題解決による住環境の向上、地域ブランド力の向上、地域電源や非常電源の確保など様々な相乗効果が期待されます。

同社の取組みが地域の課題を解決するとともに、新しい産業と雇用の創出に貢献するものと評価し、本プロジェクトに必要となる資金について、地域金融機関と商工中金が協調して融資を行いました。

これからも地域金融機関と商工中金は、このような地域の発展に貢献する事業者に対し互いに連携・協力し、地域経済の発展に取り組んでいきます。

【本シンジケートローンの概要】

アレンジャー兼エージェント：商工中金

参加金融機関：碧海信用金庫、知多信用金庫、西尾信用金庫、半田信用金庫

契約締結日：2019年6月17日

【バイオガス発電施設の概要】

所在地	愛知県半田市松堀町60番地1他		
完成時期	2021年9月予定	敷地面積	約8,200㎡
建築面積	約1,500㎡	延床面積	約2,500㎡

【株式会社ビオクラシックス半田様の概要】

所在地	愛知県半田市吉田町一丁目60番地	資本金	1,000万円
代表者	水野貴之様	従業員数	15名（予定）
業種	バイオガス発電事業及び関連する事業	設立	2017年2月